

〔特別研究〕

新生児の養育の改善に関する研究（第2報）

主任研究者 副所長 内藤 寿七郎

第VI章 新生児観察表の作成

—新生児カルテについて—

研究第2部 宮 崎 叶
小 泉 武 宣

1. はじめに

新生児期における養護法変遷の歴史が、われわれに教えるものは、「新生児、殊に未熟児に対しては、“Minimale Behandlung”であれ」という原則である。この Minimale Behandlung がなされる前提には、新生児の健康状態や疾病の程度が絶えずチェックされている必要がある。このチェックのもとに初めて「何をなすべきか」と同時に「何はなすべきでないか」が決められる。些細な症状が重大な疾患を発見する糸口となることが多い新生児では、「泣き声」、「哺乳力」、「活動性」の変化という形の児の訴えを、医師及び看護婦は素早くチェックしなければならない。しかし熟練した看護婦の監視下であっても、見落しが無いという保証はなく、ネガティブな所見は往々にして記録もれとなりやすい。また基準的養護法の改善が、一定期間のカルテからの統計的考察によって生みだされる事はいうまでもない。このような事情のもとに、われわれは医師、看護婦のためのチェック・リストを作成し利用してみた。その使用経験をも加味して新生児の観察法を考察しようとした。

2. 方法及び実施

われわれの用いているチェック・リストを表Iに掲げる。(なおチェック・リストの作成にあたっては1961年 Lubchenco によって考案されたもの(表II)を基にして、国立大村病院未熟児センターのもの及び国際聖母病院新生児記録等を参考に、当院の実状に合わせて作成した。)

表Iに掲げたチェック・リストの他、T.P.R. の経過及び医師カルテを含む用紙(表III)、哺乳量及び嘔吐・便・尿回数・与薬記入表(表IV)は新生児コットにかけてあり、その場で記録がなされる。指示表(表V)と看護記録(表VI)はカーデックスにおさめられ、記録室に置かれ、看護婦の引き継ぎにも利用されている。また産科からの新生児連絡票(表VII)及び医師による初回診察時記録(表VIII)は保健指導医への連絡票(表IX)に印刷され、検査結果、二号用紙と共にカルテ車に置かれている。退院時には、これらの用紙全てが一つにとじられ、表IXに記入され保健指導部に保管される。これらの用紙が用いられたのは1971年9月以降、愛育病院新生児室に収容された全ての児に対してである。(なお愛育病院新生児室は、未熟児室、正常新生児室に分かれておらず、愛育病院での出産児のみを収容し、看護単位は産科から独立している。)

3. 結果及び効果の判定

チェック・リスト利用後においては、利用前に比較し、落陽現象観察例数のおどろくべき増加(年間16例→57例)等が記録上より認められた。これは観察がより細かく、おちがなくなってきたものと解釈してよいと思う。チェックの面で看護婦の新生児観察経験年数の差による不統一が少なくなり、また新任の看護婦への教育にも役立った。また各項目に「異常なし」を設けたのは、retrospective に経過を見る場合に非常に便利であった。しかし当院では既述の如く未熟児室、正常新生児

室の別がなく、チェック・リストも同一のものを用いているため、異常新生児の少ない愛育病院では異常児観察において、時に安易にながれやすいことがありえた。なお指示表と看護記録は、利用当初は同一用紙に印刷されていたが、使用経験上分離し表V、表VIに掲げる形式となった。

4. まとめ

新生児年間収容数約950例でもあり、病院の構造上の問題からも、異常新生児室及び正常新生児室の分離が困難な愛育病院の実情にもとづき、観察表においては次の方針をとりたい。

- ① 正常新生児については従来のものを用い、記録のし方を徹底する。
(特にチアノーゼの記録等において)
- ② 未熟児を含む異常児のチェック・リストは将来、従来のものと別に作成する。
- ③ 未熟児を含む異常児のチェック・リストにあっては

Silverman score そのものを用い、点数での表現も並記したい。

- ④ アプガール・スコアに代わるものを作成したい。
- ⑤ 医師・看護婦のカンファレンスの中から日々疑問点を明確にし、記録方法、基準養護法を変える。

5. むすび

われわれは「何をしてはならないか、また「何をなすべきか」の判定の規準に必要な統一されたチェックの実施の改善を試みている。観察の重要性は今さらいう迄もないが、新生児養護の原則は、「Viele Ruhe, Viele Gedulde, Keine Aufregung」にあることを忘れず、状態観察においても新生児に負担をかけないように留意しながら行なわれるべきである。また近視眼的に分娩時または新生児期の記録のみを別々に見るのではなく、有機的に Punch card system 等を利用し養護基準の改善につとめたい。

Researches for the Improvement of rearing New-born Infant

Jushichiroo Naitoo et al.

Chapter VI Attempt to improve Checklist for New-born Infants

Dept. 2 Kanoo Miyazaki
Takenobu Koizumi

To improve rearing conditions of newborn infants in nurseries under teamworks of doctors, midwives, nurses and other paramedical personnels, a precise checklist of newborn infants, which clears up status presents of any newborn infant in question, and facilitate staffs to decide what to do and what not to do under the principle of "Viele Ruhe, Viele Gedulde, Keine Aufregung" is necessary. Authors attempted to make a new, serviceable checklist of newborn infants and tried if it works as intended in our newborn nursery, and concluded the new checklist was worth using.

内藤他：新生児の養育の改善に関する研究

表 I (1)

殿

暦日	0	1	2	3	4	5	6	7	8
生 日									
体 重									
増 減									
●無呼吸	酸素の影響あり								
●シーソー様									
●肋間隆凹み									
●剣状突起凹み									
●呻吟									
●頤が下る									
●鼻翼呼吸									
●不整									
●異常なし									
●全身									
●鼻口周囲	開眼あり								
●四肢									
●手足趾端									
●その他									
●哺喘体々									
●時々									
●特続									
●蒼白									
●紅潮									
●全身	体温高熱を呈し 呼吸不安								
●四肢									
●異常なし									
●痙攣	バビンスキ反射								
●強剛									
●落陽									
●上方凝視									
●眼球振盪									
●振顫	右反射								
●不穏									
●過敏									
●不活発									
●後弓反張	歩行反射								
●大泉門膨隆									
●麻痺									
●かん高い									
●啼泣									
●弱い									
●異常なし									
●哺乳力弱	血糖値 標度60 30以下は異常								
●細管栄養の抵抗									
●唾液流出多量									
●腹部膨満									
●嘔気									
●嘔吐									
●異常なし									
●新鮮血吐血									
●褐色吐血									
●下血									
●血尿									
●出血斑									

表 I (2)

暦 日										
生 日		0	1	2	3	4	5	6	7	8
皮	浮腫	●全身								
		頭								
		顔								
		外陰								
		四肢								
	外傷	●瘰癧								
		なし								
		外傷								
		産瘰								
		頭血腫								
膚	●黄疸	ビルビン 15 程度								
	血管腫	それ以上なしと同等あり								
	母斑									
	新生児紅斑									
	濕疹									
	亀裂									
	乾癬									
	落屑									
	●膿疱									
	癩癧									
眼	●発赤									
	分泌									
	出血									
	●ポリープ									
	●発赤									
	癩癧									
	●肥大									
	●下									
	●月経	不調								
	●異常なし									
観察者サイン										
備考欄										

表 II

Newborn & Premature Infant

TABLE 3-4. Check list of significant observations in newborn infants.*

Healthy Findings			Twitching			Cough		
Body temperature			Irritable			Sneeze		
Incubator temperature			Hyperactive			Stuffy nose		
Weight			Tires easily			Skin Findings		
Respiratory rate			Less active			Mottled		
Pulse rate			Lethargic			Harlequin syndrome		
Demanding			Weak cry			Jaundice		
Hungry			Shrill cry			Petechiae (specify area)		
Sucks well			Moro reflex poor or absent			Echymoses (specify area)		
Gavages well, but slowly			Cardiovascular Findings			Edema		
Resisted gavage			Pallor			Dehydration		
Weight gain			Plethora			Sclerema		
Good cry			Cyanosis, circumoral			Umbilical redness		
Active			Cyanosis, circumocular			Umbilical oozing		
Color stable			Cyanosis, extremities			Alcohol to cord		
Gastrointestinal Findings			Cyanosis, generalized			Pustular rash		
Gavaged poorly			Bleeding (specify area)			Other rash (specify)		
Sucked poorly			Respiratory Findings			Abscess		
Gagged			Oxygen flow (liters/min)			Eye discharge		
Drooled			Oxygen concentration			Skin dry or peeling		
Regurgitated			Shallow respirations			Skin irritated (specify area)		
Hiccups			Labored respirations			Other		
Mucus on gavage tube			Deep respirations					
Mucus, other			Irregular respirations					
Abdominal distention			Rest periods, <10 sec					
Abnormal stool			Rest periods, 10-30 sec					
Sore buttocks			Apnea, >30 sec					
Weight loss			Intercostal retractions					
Neurologic Findings			Xiphoid retractions					
Convulsions			See-saw respirations					
Rigid			Dilated alae nasi					
Opisthotonos			Grunting					

*The severity of the sign is indicated by +, ++, or +++. If the symptom is present only ac or pc, these symbols are used. This check list is used by nurses instead of routine nurses' notes, each column used for one period of observation. The signs observed in the infant are checked, the time and date noted, and the column initialed. If situations other than those listed are present, detailed descriptions are written in the regular nurses' notes. A 24-hour summary of nursing observations is given to the physician at morning rounds. This and the physicians' examinations provide the data on which a decision is made concerning illness. (Adapted from Lubchenco LO: P Clin North America 8:471, 1961.)

表 III

No. () 殿 年 月 日 時 分 生
 第 回分娩 ♂ ♀ (在胎 週 日)
 (出生時 g)

血液型	ABO	Rh
児		
母		

暦 日								
生 日		0		1		2		
時 間								
P	R	T						
180	O ₂	40.5						
170	80	40.0						
160		39.5						
150	70	39.0						
140		38.5						
130	60	38.0						
120		37.5						
110	50	37.0						
100		36.5						
90	40	36.0						
80		35.5						
70	30	35.0						
60		34.5						
50	20	34.0						
40		33.5						
30	10	33.0						
ク ベ ー ス	温	AM 0 9 6						
	度	3 0 9						
	湿	AM 0 9 6						
	度	PM 3 0 9						
異 常	姿 勢							
活 動 性								
筋 緊 張								
呼 吸								
チアノーゼ								
心								
肺								
腹 部								
Moro.								

内藤他：新生児の養育の改善に関する研究

第 III

No. () 殿 年 月 日 時 分 生
 第 回分娩 ♂ ♀ (在胎 週 日)
 (出生時 g)

曆 日		3	4	5	6	7	8
生 日							
時 間							
P	R	T					
180	O ₂	40.5					
170	80	40.0					
160		39.5					
150	70	39.0					
140		38.5					
130	60	38.0					
120		37.5					
110	50	37.0					
100		36.5					
90	40	36.0					
80		35.5					
70	30	35.0					
60		34.5					
50	20	34.0					
40		33.5					
30	10	33.0					
ク ベ ー ス	AM	0916					
	PM	3109					
	AM	0916					
	PM	3109					
異 常							
姿 勢							
活 動 性							
筋 緊 張							
呼 吸							
チアノーゼ							
心							
肺							
腹 部							
Moro.							
R	×10 ⁴						
Hb	g/dl						
Ht	%						
W							
Bil	mg/dl						

内藤他：新生児の養育の改善に関する研究

表 VII

新生児連絡票

昭和 年 月 日 午前 時 分 生 分 娩 番 号 外 米 番 号 新 生 児 番 号 保 指 導 番 号 分 娩 医 助 産 婦 看 護 婦

氏 名	母	年 令	血 液 型	児 の 血 液 型	母 親 学 級
	昭和 年 月 日 生		A B O R h +		
	父	年 令	血 液 型		
	昭和 年 月 日 生		A B O R h +	A B O R h +	受、不受

分 娩 記 録		新 生 児 出 生 時 記 録					
妊娠週数	W T	A P G A R S C O R E					
性・体頂	男、女 g 単 双 () 子	計	心 拍	呼 吸	筋 緊 張	反 射	皮 ぶ 色
分娩時間	I・II期 時間 分 III期 分	1分后	0 1 2	0 1 2	0 1 2	0 1 2	0 1 2
破水 →分娩	時間 分	5分后	0 1 2	0 1 2	0 1 2	0 1 2	0 1 2
分娩形式： 自然、圧出、吸引、鉗子、 骨盤位牽出、 ① 適応：② ③		切迫仮死	有、無 分間				
		蘇生法：O ₂ 、O ₂ 陽圧、挿管、 ビタカン、テラプチック、輸液、 その他					

母 体 記 録	
経 妊 歴	妊 娠 回 中 絶 回 流 回 分 娩 回 早 回 既往 心、腎、高血圧、血液、TBC Lues、D.M.、アレルギー、 外科・産婦人科手術 歴 記
妊娠中の異常	妊娠中毒症、貧血、体重増加、糖尿、糖負荷(+、-)、内科外科疾患、手術、X-P、 薬剤と薬、切迫流早産、頸管不全、筋腫、卵巣腫瘍、双胎、骨盤位、異常抗体、Rh (-) 感染症、子宮内胎児死亡、C.P.D. 記
産科異常	陣痛(弱強)、前早期破水、破水后12時間以上、分娩時発熱、羊水過多、分娩遅延、 骨盤位、児切迫仮死(心音変化、羊水混濁+-)骨盤異常(狭・形態異常、C.P.D.) 回旋異常(前方、後方、前頂、後頂、横、顔)、胎盤(前置、早剥、ゆがみ、胎盤卵膜残) 臍帯(真結節、脱出、巻絡、長、短)、弛緩出血、第3期出血多量、頸管・膈裂傷、 会陰裂傷Ⅲ度、腔・会陰血腫、予定日超過、胎盤機能不全、 記
処置	アトニン点滴(誘発、促進、elective)、アトニン分割、帝切(trial+-) 吸引(易、難)、鉗子(易、難)(中在、低在、出口、回旋)骨盤位牽出(易、難) 胎盤用手剥離、頸管・膈裂傷縫合手術、子宮内消毒術
麻酔	時 期 I II III期 時間 () 類 類 鎮静、麻薬、陰部神経、局所、N ₂ O、腰麻、硬膜外、旁頸管、挿管 記
特記事項	小児科医へ 保指部へ

表 VII 初回診察昭和年月日時分

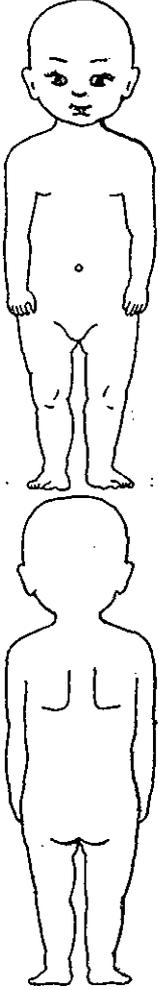
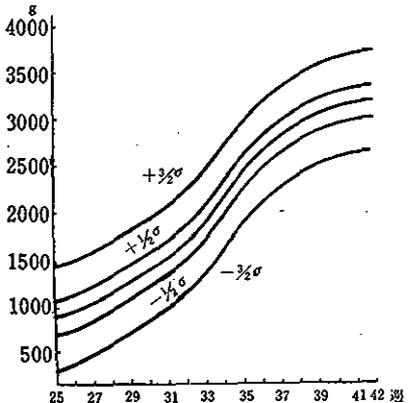
1. 印象	15. 腹部 a. 膨満	35. 頭蓋 a. 硬度	
2. 姿勢	b. 蠕動不穏	b. 大泉門	
3. 活動	c. 静脈怒張	c. 小泉門	
4. 嗜眠	d. 肝	d. 産瘤	
5. 顔貌	e. 脾	e. 頰血腫	
6. 啼泣	f. 腎 ⁷	f. 頭髪	
7. 呼吸 a. 無呼吸	g. 臍疝	g. 外傷	
b. シーソー様	h. 胰	36. 顔面神経麻痺	
c. 肋間腔凹み	16. 開排	37. 目	
d. 斜状突起凹み	17. 陰莖	38. 落陽現象	
e. 顎が下る	18. 睪丸	39. 耳 a. 低位置	
f. 呻吟	19. 陰囊	b. 変形	
g. 鼻翼呼吸	20. 女性性器	40. 鼻 a.	
h. 呼吸不整	21. 肛門	b. Küstner 徴候	
8. チアノーゼ	22. 会陰部	41. 口唇	
a. 全身	23. 下肢	42. 小顎	
b. 鼻口周囲	24. PSR	43. 口蓋	
c. 四肢	25. 内反足	44. 歯肉	
d. 手掌足蹠	26. 外反足	45. 歯	
9. 掻疹	27. Moro	46. 舌	
10. 振頭	28. 鎖骨骨折	47. 咽頭	
11. 胸郭	29. 上腕神経麻痺	48. 頸	
12. 乳頭	30. 筋緊張	49. 皮膚 a. 色	
13. 心臓	31. 脊柱反射	b. 緊張	
	32. 脊柱	c. 浮腫	
	33. 上肢	d. 出血斑	
	34. 手掌	e. 血管腫	
		f. 火傷状	
		g. 赤酒状	
		h. 疹状	
在胎週別出生時体重基準(男女計)		備考	
			

表 IX (1)

一般個 新生児歴

昭和 年 月 日生
 新生児番号 昭和 年 第 号
 保健指導番号 号

母氏名	才氏名	子氏名	♂ ♀	退院 栄 養	自宅 小病 哺育 転医 死 母乳 混合 人工 強劑
在胎 W T 分娩正異				飢 餓 時 間	12h未滿 24h未滿 36h未滿 48h未滿 48h以上
連絡先 自宅 主人勤務先 その他				体 重 減 少	5%未滿 10%未滿 15%未滿 15%以上
計測				体 重 増 加	3日以内 4日 5日 6日 7日以上
出生時				吸 呼 困 難	輕 重
退院時(月日)				心 音 異 常	
癒 率				チアノーゼ	輕 重
体 重	g	g	神 經 反 射 異 常		
身 長	cm	cm	落 陽 現 象	自 發	Moroに際し
頭 囲	cm	cm	振 顫		
胸 囲	cm	cm	黄 疸	中	強
発 育 状 況				発 熱	
小横徑				感 染	
肩 囲	cm	大横徑	メ レ ナ		
肩 幅	cm	前後徑	嘔 吐	中	強
腰 囲	cm	小斜徑	奇 形		
腰 幅	cm	大斜徑	LCCの疑い		
骨 重	- + 右上 左上	大泉門 ×	ク ベ ー ス	日	時間
		小泉門 - ± +	酸 素	日	時間
産 瘤 - + 部位				光 線 療 法	時間
頭血腫 - + 部位				交 換 輸 血	
胎 脂 小中多 部位				輸 液	
毛 小中多 部位				輸 血	
爪 : 指先に達せず 達す 越す				E E G	
性 器 正 異 ()				呼吸困難輕: R.S-1 重: R.S≥2 チアノーゼ輕: 呼吸時 重: 時々持続 黄 疸 中: 体重× $\frac{1}{100}$ mg/dl以上 又は15mg/dl以上 強: 体重× $\frac{1}{50}$ mg/dl以上 又は18mg/dl以上 嘔 吐 中: 1日2回以内で5日未滿 強: 1日3回以上 又は5日以上	
外 奇 形 - + (耳 口 指 肛)				保健指導医へ	
点 眼 (Créde その他)					
前回児に関する事項					
① 年 月 生 体重 g ♂♀ 母 混 入 出 産 場 所 (当 院 ・ 他 院) 健 否					
② 年 月 生 体重 g ♂♀ 母 混 入 出 産 場 所 (当 院 ・ 他 院) 健 否					
③ 年 月 生 体重 g ♂♀ 母 混 入 出 産 場 所 (当 院 ・ 他 院) 健 否					
その他					

